

⑥【外国人の人権】

記号	タイトル	時間	製作年	概要
外-1	人権ってなあに ③ (在日外国人篇) 「わいわいごちゃごちゃ」 ～多文化・多民族共生の街～	34分	H12	この作品では、神戸市長田区と川崎市を舞台に在日韓国・朝鮮人の取組みと、共に活動する日本人の姿を紹介し、街に暮らす様々な民族の人たちが共に生きていくことの大切さを探る。
外-2	人権ってなあに ⑤ (移住外国人篇) 「いっしょに歩こう」 ～豊かな国際化社会をめざして～	45分	H13	1980年代後半からたくさんの外国人が働く場を求め日本にやってきたが、企業や地域社会での根深い偏見や差別。様々な人権侵害のなかで外国人たちは自ら声を上げ、手を結び、日本社会のなかで生きようとしている。21世紀における日本社会の国際化のあり方が今問われている。
外-3	在日韓国人啓発アニメーションビデオ 【アニメ】 いちばん近くに	122分	H8	大阪を舞台に社会的、制度的差別と様々な偏見のなかで、自らの民族的アイデンティティを大切にしながら生きている在日韓国・朝鮮人と日本人との出会いをテーマに制作されています。
外-4	「サラムという名の隣人」	38分	H4	サラムとは朝鮮語で「人間」。今なお学校・就職・結婚で受ける差別。在日3世の学生を通し、今日における現実問題を映し出すとともに、民族の誇りに目覚める姿をえがく。
外-5	「わかりあえる季節」 (1998年教育映画祭作品受賞)	52分	H9	主に、高校で実際に起きた差別事象をもとに構成。物語は、在日韓国・朝鮮人に対する差別をはじめ、日本における様々な人権問題をからめて展開されていきます。差別発言によって傷つけられた関係を懸命に修復しようとする高校生の姿を通して訴える作品。

記号	タイトル	時間	製作年	概要
外-6	外国人と人権 ～違いを認め、共に生きる～	33分	H28	この作品は、外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるのかを考えるものです。イラン生まれで、養母とともに8歳の時に来日したサヘル・ローズさんのナビゲートで進められます。
外-7	サラーマット ～あなたの言葉で～	36分	R1	この作品の主人公・珠美は、新しく職場に来たフィリピン人のミランダに対し、様々な「違い」を「壁」だと捉え、面倒な存在だと感じてしまいます。しかし、ミランダとの交流を通して「違い」は様々な問題解決の糸口になることを学んでいきます。「違い」は壁ではなく、自分自身を成長させ、地域を豊かにする源ととらえ、多文化共生社会の実現をめざす作品になっています。